

## NGO設立に至る流れとこれまでの活動

1994年～

日本国政府アンコール遺跡  
救済チーム(JSA)の活動



- ・遺跡修復技術の指導
- ・石材加工技術の指導
- ・重機操作・各種調査の技能指導
- ・農村でのワークショップ

チア・ノルの活動



- ・クラウ村小学校の建設と教材支援
- ・クラウ村の村道建設
- ・クラウ村の橋建設
- ・クラウ村の集会所建設

2005年6月



2005年～2007年

アンコール  
やまなみ塾

植林活動

織物業  
従事者職業訓練

植林絵本作成

井戸の寄付

窯業  
従事者職業訓練

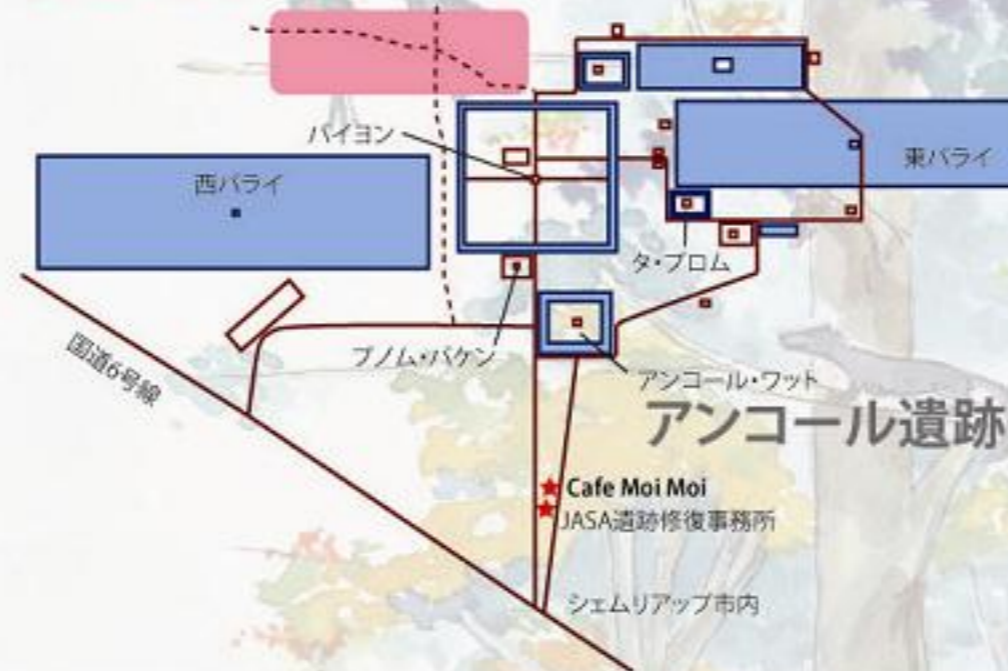
2008年～

## JSTへの支援グループ

AMATAK (NPO)  
アンコールミュージアム(山本克典)  
アンコールやまなみファンド  
Cafe Moi Moi  
紀南ユネスコ協会  
国際開発センター (IDCJ)

聖心女子学院  
Siem Reap Book Center  
田辺市国際交流協会 (TIES)  
名古屋中ライオンズクラブ(田中博晶)  
日本国政府アンコール遺跡救済チーム  
夢弦  
ランパスの会

## アンコール・クラウ村



## カンボジア連絡先

住所: Group4, Phum Tropeang Ses, Khum Kokchork,  
Srok Siem Reap, Cambodia  
メールアドレス: yokoko@online.com.kh 担当: 小出陽子

## 日本国内連絡先

早稲田大学理工学部建築学科中川研究室  
住所: 東京都新宿区大久保3-4-1 55号館N棟8階10A  
電話: 03-5286-3575  
FAX: 03-3204-5486

## JST活動へのご協力をお願い

活動にご賛同いただける方は募金のご協力をお願いいたします

### ■カンボジア振込先

銀行名: Cambodian Commercial Bank Limited Siem Reap Branch  
口座名: JSAC  
口座: 802-03-2 04737-9  
Swift Code: SICOKHPP

### ■日本国内振込先

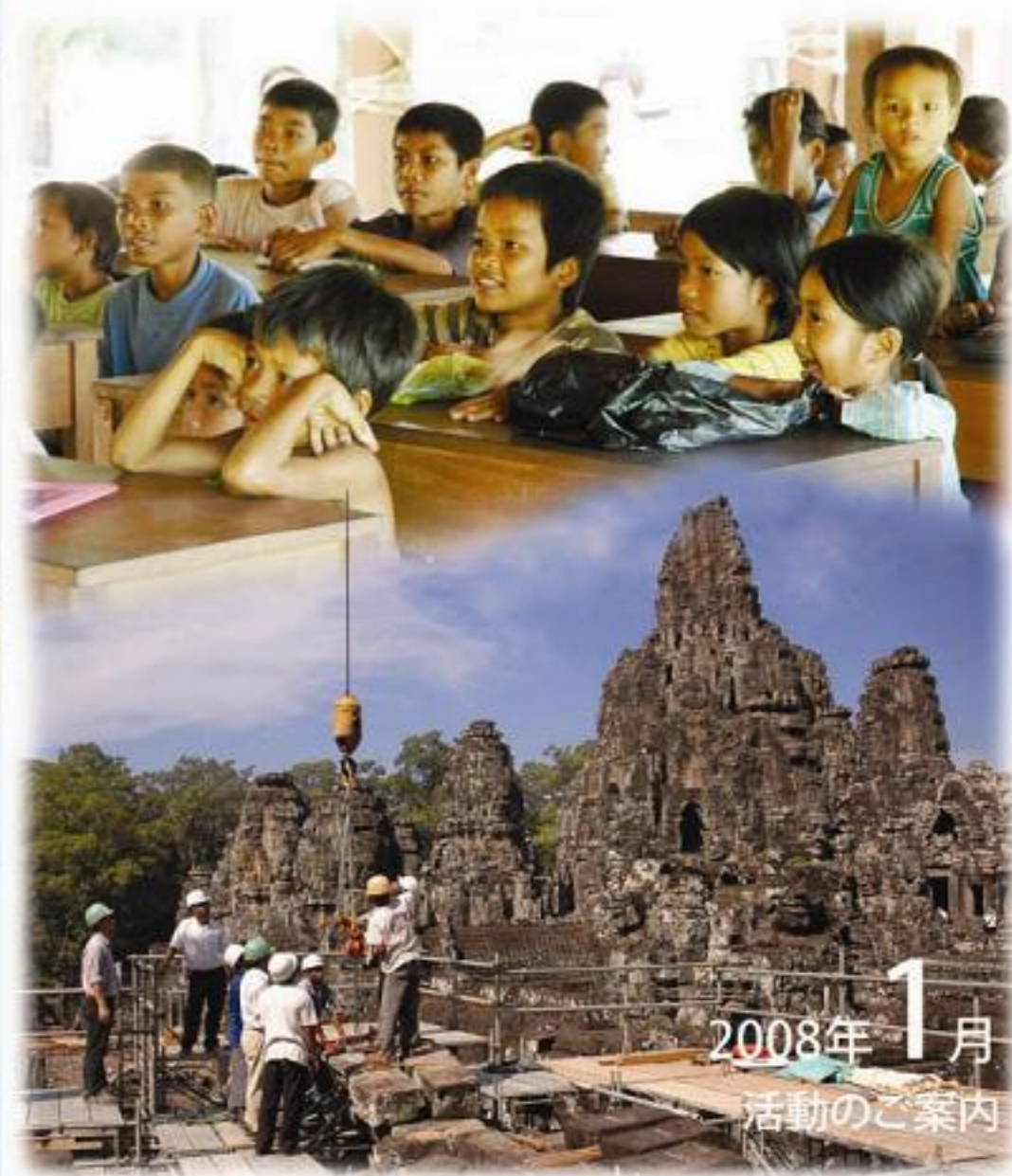
振込先: 郵便貯金 ばるる  
名義: ジェイアンドエスエーシー  
口座: 記号10010番号97367631



# JST

Joint Support Team  
for Angkor Preservation and Community Development

アンコール遺跡の保全と  
周辺地域の持続的発展のための人材養成支援機構



2008年1月  
活動のご案内

## アンコールやまなみ塾

富山中部高校 (JSA事業団長、中川武教授の母校) の卒業生によって設立された「アンコールやまなみファンド」より支援を受け、2006年5月、アンコール・クラウ村にアンコールやまなみ塾が誕生しました。現在、同村出身の若い英語の先生2人が、村の子供達、大人達に毎日英語を教えています。



### 村に英語塾ができて・・・ アンコールやまなみ塾英語教師より

『アンコールやまなみ塾』が開校して1年半がたちました。現在、約120人の村の生徒が、毎日英語を学んでいます。

1クラスは90分授業で、1日5クラス。子供達だけでなく、夕方6時半からは、仕事が終わった村の大人達も英語を学んでいます。1クラス中の生徒の年齢はまちまちですが、皆、毎日真剣に授業に取り組んでいます。

カンボジアの農村部で英語塾ができたのは、おそらくやまなみ塾が初めてではないでしょうか。村の大人たちは、子供たちが英語を習得できれば、将来町でよい職業に就くことができたり、アンコール遺跡保存修復の仕事に関わることができたりするだろうと、たいへん期待し、そのような機会をつくってください、アンコールやまなみファンドの皆様へ感謝しています。

また、やまなみ塾を訪ねられる外国人の方々との交流も楽しみのひとつです。日本の高校生との交流では、一緒に植林をしたり、村の子供達の遊びを紹介したりして楽しめました。

さらに、日本の皆様の寄付によって、たくさんの絵本がやまなみ塾にそろいました。英語のクラスが終わった後は、目を輝かせながら本を読む子供の姿もみられます。

やまなみ塾に近づく、英語のフレーズを繰り返す子供達の元気な声が聞こえてくることでしょう。希望に満ち溢れた元気な声とひとりひとりの目の輝きは、村の宝、カンボジアの将来の希望の光です。

子供達は1日も早く英語が上達できるようにと、今日も頑張っています！！



IDCJ (財;国際開発センター)、緑の募金交付金 (社;国土緑化推進機構) などの支援および助成を受け、アンコール・クラウ村地域住民とともに植樹活動を行っています。今期は、アンコール・トム遺跡と西バライの間を通るアプサラ道路沿い約12kmの区間に、合計で2,400本のコキの苗木植樹を行いました。



### 植樹に参加した村人の声

私達は、薪を集めるために森に入って木を切ることはあっても、切った後に苗木を植えることは今まではありませんでした。もちろん、自分の家の庭に果物の木などを植えることはありますが、道路沿いに植樹を行うのは、今回初めての体験でした。5m間隔で穴を掘り、苗木を植え、肥料を敷き、柵を設置するのですが、何日もかけて

1000本近い苗木を植えることもあり、村の皆で一生涯懸命、作業を行いました。

その後『森はともだち』という環境絵本を読み、また、アンコールやまなみ塾に来られた日本の先生から、植林の話を読み、少しずつ、自分たちが行っていることを理解し始めたところです。1本でも多くの苗木が、立派な木に成長してほしいと願っています。



### 植林活動

### アンコール・クラウ村 支援マップ



### 井戸の寄付

日本の方々からの寄付をいただき、カンボジアの農村の公共施設 (学校、集会所、遺跡警察派出所など) に井戸をつくりました。

水を飲んだり、野菜を洗ったり、水浴びをしたり……と、子供達の歓声が井戸の周りでひびいています。

## 織物業従事者職業訓練



アンコール・クラウ村の20代の女性4人によって、手織りのコットンスカーフを製作しています。シェムリアップ市内の委託販売店のみならず、日本の皆様のご協力によって、販売が徐々に軌道にのり始めました。



## 窯業従事者職業訓練



カンボジアの若い陶芸作家・バンヌーン氏を応援することによって、カンボジアの窯業従事者の自立へつながる支援を行っております。

2007年8月、プノンペンにて、窯2つを含む工房が完成しました。1970年代にプノンペン芸術大学の陶芸学科教授であったバンヌーン氏の父親 (故人) の工房の名を引き継いで、Lor-Pok窯と呼ぶことになりました。

アンコール時代の陶芸技術と芸術性を受け継いだバンヌーン氏の、陶芸家としての今後の活躍を、皆様、ぜひ応援してください。



## 植林絵本作成

IDCJ (財;国際開発センター) と共同で、カンボジアの子供向けの環境絵本『森はともだち』を作成しました。文章はオリジナルな内容でクメール語、絵は地元の青年に描いてもらいました。2007年4月、出来上がった絵本2500部は、アンコール地域のみならず、カンボジア全域の小学校に配布しております。

### 『森はともだち』あらすじ

カンボジアの豊かな森の中で友達と楽しく暮らしていた子ザルの物語。

あるとき、遠くの町から人間がやってきて、畑や家をつくるために、森の木を切り倒していきます。環境が破壊され、友達も遠くに引越してしまい、一人ぼっちになってしまった子ザルは、失意の中でネアック・ター (カンボジアの土地の精霊) の声を聞きます。ネアック・ターは、もし、子ザルが荒れ果てた土地に苗木を植えて大切に育てれば、やがて苗木は大きくなって森になり、友達は戻ってくるだろう、と告げます。その言葉どおりに一本一本、苗木を植えて大切に育てた子ザル……。

長い年月が経ち、生き生きと甦った森には、やがて昔の仲間が戻ってきます。

